



# 第6次全銀システムの稼動 一次世代RTGS第2期対応一

---

平成23年12月15日

一般社団法人 全国銀行資金決済ネットワーク

# 全銀システムの沿革

	参加者数 (稼動時)	システムの規模 (稼動時)	期中における主な施策
第1次システム (1973年)	88行 (88)	処理能力:100万件/日 平均処理件数: 17万件/日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全国銀行内国為替制度の発足</li> <li>○ 為替通知のデータ配信化</li> <li>○ 為替決済日を翌々日から翌日に変更(1974年)</li> </ul>
第2次システム (1979年)	708行 (160)	処理能力:140万件/日 平均処理件数: 59万件/日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 相互銀行、信用金庫、在日外銀、信用組合、労働金庫、農協が順次参加(1982年～)</li> </ul>
第3次システム (1987年)	5,304行 (166)	処理能力:500万件/日 平均処理件数: 160万件/日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 東京・大阪2センター化</li> <li>○ MTデータ伝送(ファイル転送方式)の開始</li> <li>○ 仕向超過限度額管理の開始(1990年)</li> <li>○ 同日決済への移行(1993年)</li> </ul>
第4次システム (1995年)	3,552行 (162)	処理能力:1,350万件/日 平均処理件数: 354万件/日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 専用回線方式を自営パケット交換網に変更</li> <li>○ 通信開始時刻を8:30に繰り上げ</li> <li>○ 証券系信託、ネットバンク等が順次参加(1995年～)</li> <li>○ 新内国為替制度の実施(東銀協のCCP化)(2001年)</li> </ul>
第5次システム (2003年)	1,679行 (149)	処理能力:1,500万件/日 平均処理件数: 516万件/日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 回線をフレームリレー網に変更</li> <li>○ データ暗号化を実施</li> <li>○ 電文フォーマット上にEDI欄を追加</li> <li>○ 情報系システムの新設</li> <li>○ ゆうちょ銀行が参加(2009年)</li> </ul>
第6次システム (2011年)	1,371行 (142)	処理能力:2,000万件/日 平均処理件数: — 万件/日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 回線をIP-VPN網に変更</li> <li>○ 大口内為取引の次世代RTGS決済の導入</li> <li>○ 新ファイル転送の導入</li> <li>○ XML形式の電文への対応</li> <li>○ 情報系システムの機能拡充(各種申請等への対応)</li> <li>○ 電子記録債権に係る専用電文への対応</li> </ul>

# 第6次全銀システムの開発経緯

	第6次全銀システム開発	その他(参考)
~2006年		2001年1月: BIS「システミックな影響の大きい資金決済システムに関するコア原則」 2004年3月: 全銀協「大口決済システムの構築等資金決済システムの再編について」 2005年11月: 日本銀行「日本銀行当座預金決済における次世代RTGSの展開」
2007年	7月: 検討開始	12月: 金融庁「決済に関する論点の中間的な整理について」
2008年	1月: 入札実施 5月: ベンダー決定 10月: 基本仕様	10月: 日銀ネット次世代RTGS(第1期対応)稼動
2009年	3月: 基本設計書 9月: 総合運転試験計画	1月: 金融審議会金融分科会第二部会「資金決済に関する制度整備について」 6月: 資金決済法公布
2010年		4月: 当法人設立 9月: 当法人が資金清算業免許取得 10月: 当法人が資金清算業を開始
2011年	2月: 移行計画 4月: 総合運転試験開始 10月: 稼動日を正式決定 11月: 稼動	11月: 日銀ネット次世代RTGS第2期対応稼動

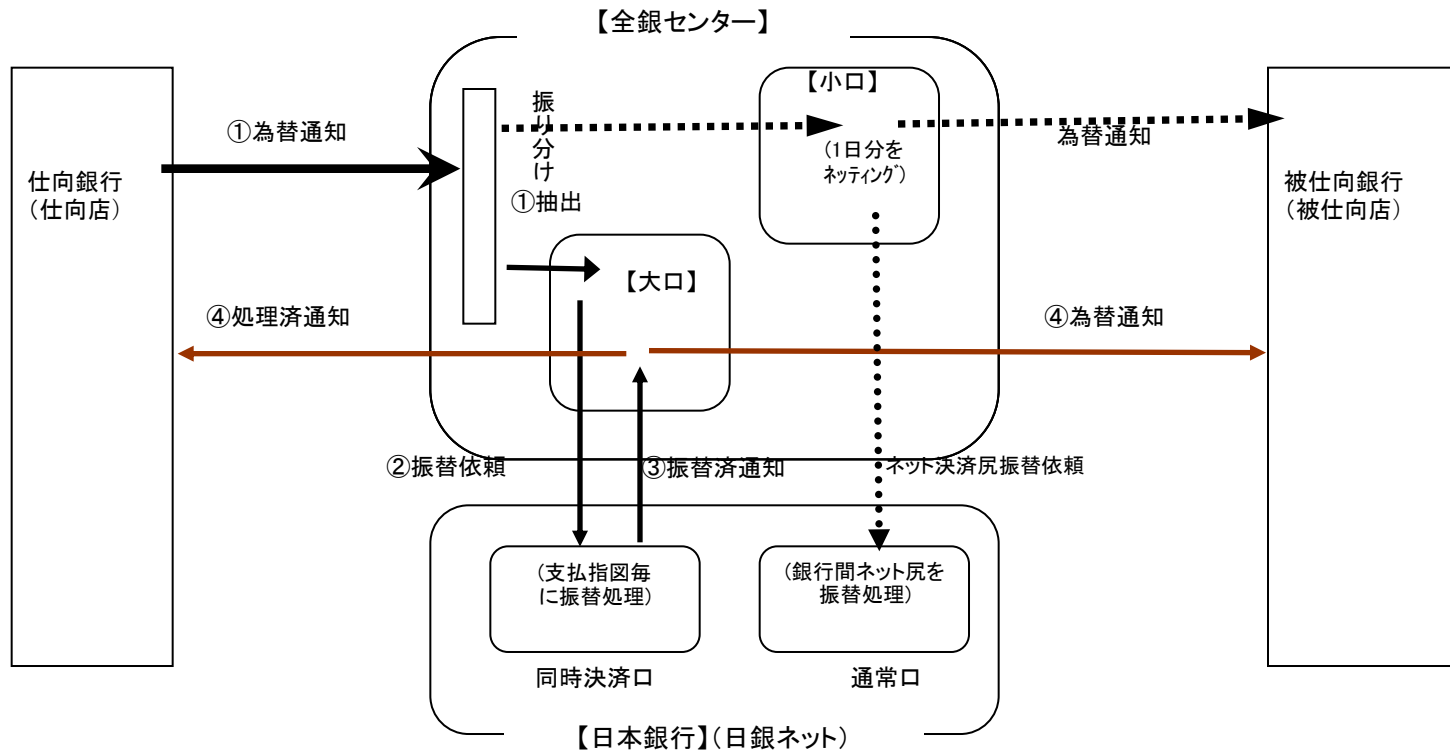


# 主な施策

---

- ① **銀行間決済リスクの削減**
  - 大口内為取引(1億円以上)の日銀ネット次世代RTGS決済
- ② **国際化・標準化への対応**
  - TCP/IP手順、IP-VPN網の採用
  - XML(ISO20022)の採用・EDI情報欄の拡充
- ③ **システムの効率性、柔軟性向上**
  - SOA、新ファイル転送の導入
- ④ **業務継続体制の強化**
  - 試験環境の整備、新ファイル転送・情報系の活用

# 大口内為取引(1億円以上)の即時決済化 (次世代RTGS第2期対応)





# 第6次全銀システムの稼動

---

- 2011年11月14日(月)稼動

## 大きな障害・混乱なく稼動

- 全銀センターのシステム、事務
- 加盟銀行のシステム、事務
- お客様相互間の取引

# 決済リスクの削減効果

- 件数比0.15%の取引にRTGS決済を導入することにより、全銀システムの銀行間日中決済リスクを7割削減

(11月14日～30日)

	件数		金額	
	件数	割合	金額	割合
大口RTGS決済	12.70万件 (1.06万件/日)	0.15 %	105兆4,252億円 (8兆7,854億円/日)	69.78 %
小口ネット決済	7,742万件 (645万件/日)	99.85%	45兆6,493億円 (3兆8,041億円/日)	30.22 %



---

- 一般社団法人 全国銀行資金決済ネットワーク

<http://www.zengin-net.jp>